

仙台デザイン専門学校
令和 6 年度 学校関係者評価報告書

令和 7 年 6 月

学校法人 北杜学園
仙台デザイン専門学校

1. 「学校関係者評価」の実施方法について

文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施・作成した「令和6年度自己点検評価報告書」の結果について、仙台デザイン専門学校に關係の深い業界等の委員より評価をいただきました。

各評価委員には、「自己点検評価報告書」及び「学校評価」に関連する資料等をご覧いただいた上で、ご意見等を聴取いたしました。

本報告書は、各評価委員からいただいたご意見・ご提言を評価項目ごとに要約し、取りまとめております。「令和6年度 自己点検評価報告書」と併せてご覧ください。

貴重なご意見・ご提言は、今後の学校運営や学校教育の場で活かし、本校の教育目標である「デザインマインド」を持った有能なる人材育成に努めてまいりたいと存じます。

令和7年6月
学校法人北杜学園
仙台デザイン専門学校
校長 鈴木 一樹

2. 学校関係者評価委員一覧表

氏 名	選出区分	職 名	備 考
和田 冬樹	企業関係者	仙台デザインワークス株式会社 代表取締役	外部委員
大泉 由梨	企業関係者	BUCHICO DESIGN 代表	外部委員
三上 秀夫	学識経験者	東北生活文化大学 美術学部長	外部委員

3. 基準評価ごとの学校関係者評価・意見

(1) 教育理念・目的

- ・教育理念が明確に定められ、周知徹底されていることで職員・生徒が一丸となり教育・学修活動に取り組んでいるのは素晴らしいことであり、今後も引き続き高い意識での取組みを継続していただきたい。
- ・学校の教育理念や教育目標、育成人材像などが明確に示され、社会的ニーズに対応している教育がなされている。
- ・学校の教育理念や目的、独自の特性・特色が明確に示されており、育てたい人材像や将来のビジョンについても、生徒や保護者に十分伝わっていると感じる。

(2) 学校運営

- ・職員・学生共にモチベーションが高く、学校全体が非常によい雰囲気包まれて運営されていると感じる。
- ・具体的な情報が明瞭に開示がなされている。年度目標の達成に向けて教職員が連携を図りながら学校運営を行っていることがうかがえる。
- ・学園の理念や目標に基づき、組織や体制が整った運営がされている。
- ・具体的な業務の効率に関して、DX化の流れが加速度的になっている昨今なので、世情とのバランスを取りながら進めていただきたい。

(3) 教育活動

- ・移り変わりが非常に激しい業界に向けての人材育成となるが、現在のトレンドである生成AIを取り入れながらの教育活動が成され、IT 分野の技術も取り込まれ、非常に高いレベルでの教育が実現できている。
- ・関連業界の企業や外部講師による講話などの外部との連携や販売実習、各種コンペへの参加等実践的な取り組みは、教育活動において非常に重要であると感じる。
- ・授業評価の実施、資格取得を踏まえた指導体制によるカリキュラムが体系的になされている。
- ・教員が技術知識の向上を目的としてセミナーを受講する際には、その学びを支える体制のさらなる充実が期待される。

(4) 学修成果

- ・教育活動と合わせて、学生も高い意識を持っており、入学から卒業までの2年間で驚くようなスキルアップをして卒業をしていく姿が見て取れ、学修の成果は高いと判断する。
- ・デザイン業界の厳しい採用状況にも対応し、就職支援担当を含め全体的な体制が整っている。
- ・意欲を持つ学生への支援に一層注力し、在学中や卒業後の活躍を適切に評価することで学生の学習意欲の維持・向上につなげてほしい。
- ・精神的な不調を抱える学生が増加傾向にあり、退学率の抑制は年々困難さを増していると感じられるが、精神的な問題を抱える若者に向けた手厚いケアは、評価できる。
- ・更なる退学率の低減を図っていただきたい。

(5) 学生支援

- ・ 学生への支援体制の向上により、以前より体調や精神に問題を抱えて脱落してしまう生徒が減っていると感じる。時代の変化により支援体制を強化・更新が必要になるが、適切に対応が成されてる。
- ・ 校内に専門のカウンセラーを配置し、個々の学生に対する丁寧な支援が行われていると感じる。担任制により、授業や課題に関する疑問、将来への不安などについても、学生が気軽に相談できる環境が整っていると感じられる。
- ・ 学生の学びから生活全般に渡り支援体制を整え、学生の生活環境と健全な育成を目指していると判断する。

(6) 教育環境

- ・ トrendに合わせてハードウェアの更新も頻繁に行う必要があるが、最新の設備が整えられており、学生も十分な教育環境で学ぶことができている。
- ・ ソフト・ハード両面での最新の機器が導入されており、充実した教育環境が整っている。
- ・ 教育上の施設・設備、防災上の体制整備が整い、十分な教育体制がなされている。
- ・ 教員は常に自身をアップデートし、日々変化の激しいデザイン業界に対応できるよう、最新の知識と技術の習得に努める必要があると感じる。

(7) 学生の受入れ募集

- ・ 少子化により入学該当者の絶対数が減っているにも関わらず、入学希望者が集まっているので、貴校の魅力とそれを効果的に伝える活動が形になっていると思う。
- ・ 広報担当者と教員が連携を取りながら、SNS やホームページを活用し、常に最新の情報を積極的に発信している様子が見える。高校生に楽しんでもらいながら学校の魅力を伝えるために、オープンキャンパスや体験イベントなども積極的に実施し、熱心に取り組んでいると感じる。
- ・ 入学者確保に向けて、資格取得実績や就職、卒業生の活躍等の教育成果並びに学納金の設定について正確かつ適正に行われている。
- ・ 今後の学納金に関しては、健全な財務状況を保つために、物価上昇に合わせて妥当な金額を探っていただくことを希望する。

(8) 財務

- ・ インフレや少子高齢化など日本全体の経済状況が混迷を極める中、学校法人として非常に健全な体制を整えて運営が成されている。今後も収益や賃金の向上など問題は多数あるが、持続的な法人の運営のための尽力を期待している。
- ・ 適切な財務計画が策定されており、経営の安定性が保たれている。財務情報の透明性が確保されていることで、関係者からの信頼も厚いと感じる。
- ・ 財務状況に照らして、財政計画が有効かつ適正に行われ、財政基盤の安定が維持されている。

(9) 法令等の遵守

- ・教職員のみならず所属する学生に対しても法令順守が強く求められる昨今であるが、事故等の報告もなく学校運営が成されていることに、教職員の並々ならぬ努力によって成し得ていると感じる。
- ・個人情報保護をはじめとした関連対策が、職員や関係者にしっかりと周知されていると感じる。法令順守の意識が高く保たれ、安心・安全な教育環境の維持につながっていると考えられる。
- ・関係法令の理解と法令遵守、個人情報保護の対策ならびに自己評価結果を踏まえた教育活動の改善を行った、適正な運営がされている。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・広く社会のニーズに対応した社会貢献・地域貢献による実績を上げていることは、まさにデザインを通じた教育理念、教育目標を掲げていることへの成果だと判断できる。
- ・社会や地域と学校・企業との繋がり、新型コロナウイルスの蔓延により一旦は希薄化してしまった。すぐに以前の状況に戻すことは難しいが、徐々に地域社会との繋がりを強めていただければと思う。
- ・コロナウイルスによる規制が緩和された今、学生の学外での制作活動をさらに積極的に奨励・支援していくことが、地域社会や広く社会への貢献につながると考えられる。外部イベントへの参加や作品の積極的な発信を通じて、作品を介してお客様と直接コミュニケーションを図る機会を増やしていけると良いと感じる。

4. 学校関係者評価 総評

- 新型コロナウイルスの蔓延がほぼ収束したあとも、生成AI の隆盛、少子高齢化、インフレ物価高騰等、激変が続く世情の中で、優秀な人材の教育・輩出を継続されている貴校に対して、それを受け入れる企業側の人間として心から感謝申し上げます。教職員のみならず、学生のモチベーションの高さを拝見するにあたり、企業サイドもこの厳しい世情を乗り越えて、卒業生が安心して働ける会社作り、地域作りにより一層励む必要があると痛感した。
- コロナ禍における学校運営では、外部との連携や校外実習が制限され、閉鎖的にならざるを得なかったものの、その影響が学生に及ばないよう、教職員が常に緊密に連携し、学校運営に務めていたと感じる。今後は、更に学生の作品発表の機会を増やしていけると良いと感じる。
- デザインを通じた社会貢献と、社会のニーズに対応した「デザインマインド」を有する人材育成、更なる未来を見据えたクリエイター教育を目指していることは評価できる。また、学園の理念や目標に基づき、組織や体制による学校運営がなされていること、施設・設備が整い、十分な教育体制が整備されていること、自己点検やその結果の改善に努めていることを高く評価する。